

# TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

第一部 海鷹丸航海調査報告 平成16年度(2004年度)  
第15次航海報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2008-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/277">https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/277</a>

#### 4.6.1.2 トアマシナ港入港報告 (Report of Toamasina )

##### 1. 概要

本船はインド洋におけるマグロ延縄調査を終え、燃料及び生鮮食料品の補給のためアフリカ大陸の東に隣接する世界第4位の島国マダガスカルに入港した。トアマシナ港は、マダガスカル東海岸の北端から約180マイルの小さな入り江の先端に位置している。

トアマシナ港は、マダガスカルの主要港であり、この国の首都であるアンタナナリヴを支えている。主に、ばら積みの穀物やクロム鉱石、コンテナ石油製品、一般貨物、旅客を含むさまざまな積荷等を取り扱うため整備されている。(Photo. 1,2,3) 以下に港湾情報を報告する。

(1) 入港国 : Republic of Madagascar、(2) 位置 : Latitude: 18° 09'S Longitude: 49° 25'E、(3) 入港期間 : 2004年12月16日～20日、(4) 使用時間 : UTC+3h、(5) 言語 : フランス語・マダガスカル語、(6) 潮汐 : 12月16日、低潮 44cm、高潮 103cm、平均水面下は 38cm であった。



Photo. 1 Port entry rout

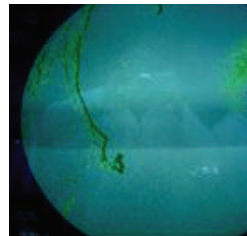


Photo. 2 Radar Sight



Photo. 3 Docked wharf

##### 2. 入港

###### 2.1 VHF 交信記録

07:50-07:58 Ch16 で Port Authority (TAMATAVE PORT) と交信し、ETA の確認とパイロットラダーの右舷側への設置を確認した。08:40-08:48 Ch16 で Port Authority と交信し、パイロットラダーを右舷側設置及び Pilot が現在本船に向かっていることを確認した。

###### 2.2 入港 (12月16日) 時概要

インド洋でのマグロ延縄調査を終え、パイロットステーションを目指した。(Photo.4)。

正午の気象は、天気:bc 風向:NE/N 風力:4 気温:28.1℃ 水温 :27.4℃であった。09:02  
パイロット Capt.Totovola 右舷側より乗船 (Photo.5,6)、09:39 Toamasina 港の岸壁に着  
岸、09:55 パイロット下船した。



Photo. 4 Leading Light



Photo. 5 Capt.Totovola



Photo. 6 Pilot Boat

### 2.3 入港手続き

着岸後、代理店・入国管理局（以下入管）・検疫官が来船。必要書類を提出した後、調  
査員4名の入国手続き(\$20USD)を行なった。入管より上陸には船員手帳またはパスポート  
のコピーの裏に入管のスタンプを押したものを身分照明として所持するよう指示があった。  
税関はボンド品の数量と申告書を照合しシールした。その後、本寄港地で下船する調査員  
の出国手続きを行ない全て完了した。PSCは行われなかった。(Photo. 7,8,9)



Photo. 7 Port procedures



Photo. 8 Document



Photo. 9 Document

#### ・入国手続き時に提出書類

前出港証明書、乗組員名簿、明告書、上陸許可書、シールストア申告書、旅客名簿  
乗組員携帯品申告書、接待品申告書、航海メモ、予防接種申告書、旅客携帯品申告書、船  
用品申告書、Nil list、一般申告書、積荷申告書、機材納入 (Reference of the Dispatching)  
港務通信 1週間前水先人要請、ETA 代理店報告、無線検疫無く入港時手続き行う。

### 3. 出港 (12月20日)

#### 3.1 出港手続き

出港日は代理店がパスポートを持って入管に行き、出国スタンプ押印後、出港許可書を受け取る。税関は Whisky 2BoT. Cigarettes 4Caqrtons を持ち帰り、代理店も出港日に Whisky 1BoT. Cigarettes 2Caqrtons を要求した。

### 3.2 出港

10:13 パイロット乗船、10:22 タグボート (ANTSIKA) よりタグラインを左舷側に取り、10:25 タグボート離船 (Photo. 12)、10:23 Toamasina 港出港 (Photo. 13)、

10:37 パイロット下船



Photo. 10 Tug boat

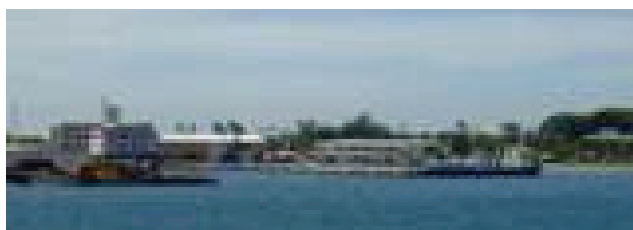


Photo. 11 Wharf

## 4. 港湾施設

トアマシア港はマダガスカルの中でも港湾設備は整っており、唯一給油のできる港である。港の出入り口はゲートがあり、身分証明書の掲示が必要であった。物売りが本船付近に集まってきたが、代理店に依頼したワッチマンの巡回もあり、安全は確保されていた。

### 4.1 岸壁設備

ビットの形状は、赤茶色の錆びたかぎ型でビット間隔は、約 20m であった。(Photo. 12) フェンダーは、黒色ラバー製であった。(Photo. 13)



Photo. 12 Bit



Photo. 13 Fender

### 4.2 給油

12月16日にA重油200klをトラック11台より積み込んだ。給油所要時間は、雨中の深夜作業となり約10時間(13:15~23:18)要した。給油の際、本船のパッキンからA重油が漏れた。値段は、US\$508.9(1M/T当り単価)であった。(Photo. 14,15)



Photo. 14 Oil truck



Photo. 15 Receipt

#### 4.3 ゴミ回収 4.4 食料品積み込み

ゴミは回収業者がなく廃棄することができなかった。また衛生上の理由により、食料の購入はしなかった。

#### 5. 衛生・治安状態

ここは非常に治安が悪いとの情報があったが、夜遅くの一人歩きを避ければ治安は悪くないと思われる。川で洗濯や沐浴する現地では、ほとんどのレストランにおいてハエなどの虫が多く清潔ではなかった。本船出港後、船内では8割の学生および一部乗組員が下痢、発熱に見舞われ、ビオフェルミンSおよび抗生剤が大量に消費された。

#### 6. 代理店

Societe Auxiliaire Maritime de Madagascar P.O.Box 93, Rue Ratsimlaho  
501-Toamasina Tel: 26-12-05332447 FAX:261-20-5332450 Email auxito@wanadoo.mg

#### 引用文献

- 1) Admiralty Tide Table Vol.3 Indian Ocean & South China Sea, British Admiralty, 2003
- 2) 海図 No.946, Ports in Eastern Jawa, Bali and Lombok, 1/10,000, British Admiralty, 2003